

「ココロも満タンに」するエコ活動を



コスモ石油エコカード基金
理事長

桐山 浩

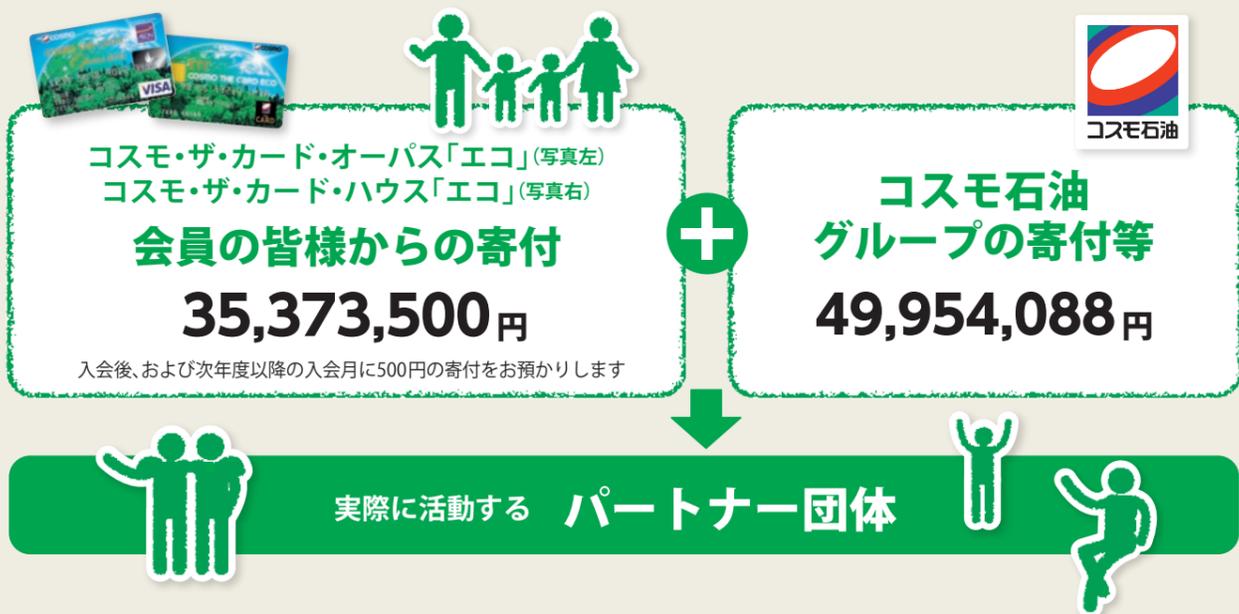
もっと会員様の声にお応えするエコカード基金へ

コスモ石油エコカード基金は、お客様とともに環境保全活動に取り組む基金として2002年に開始し、14年目を迎えました。日頃、エコカード基金を支えてくださっている会員の皆様には心より御礼申し上げます。

コスモ石油が取り扱う主な商品である「石油」は、油田を開発して製品にし、それを車に給油して消費するまで、少なからず環境に負荷をかけています。その事実を真摯に受け止め、消費の段階で関わるお客様と一緒に環境保全活動に取り組もうと開始したのがエコカード基金ですが、設立から十数年経ち、家庭や企業による環境への取り組みが当たり前になってきた今、転換期を迎えています。もっと会員様の声にお応えするエコカード基金をめざして、今年度はプロジェクトの拡充、エコツアーの改善、感謝イベントの開催に着手いたしました。また、それをお知らせするメルマガの発行、会員の方との双方向コミュニケーションができるFacebookページの開設も予定しています。これからのエコカード基金にぜひご期待ください。

エコカード基金ってどうやって運営されてるの？

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」会員のお客様からお預かりした寄付金と、コスモ石油グループからの寄付によって、実際に活動するパートナー団体を支援しています。



評議員からのメッセージ



コスモ石油エコカード基金
評議員
環境NGO:
ジャパン・フォー・サステナビリティ
理事長
多田 博之

設立から14年目を迎えるコスモ石油エコカード基金は、日本の環境保全活動の中では老舗といえます。500円のワンコインで、身の丈にあった形で誰もが環境に貢献できるという仕組みは本当に素晴らしいことだと思います。そしてその基本線は、設立当初から現在に至っても全くぶれていません。

これまで順調に推移してきたエコカード基金ですが、ここ数年会員数が減少しており、曲がり角に来ているのもまた事実です。現行会員を大切にしつつ、現会員にもサポートをお願いして、新規会員の獲得をめざすことが急務と考えています。

さらに、エコカード基金の「あるべき姿」、将来像に関して、従来のフォアキャストの思考ではなく、バックキャストの思考で考え直していただき、今こそ中長期的なあるべき姿を明確にすべきではないでしょうか。日本の環境保全団体の老舗にふさわしい活動を続けてほしいと切に願っています。

エコカード基金のプロジェクトはどんな考えに基づいて選んでいるの？

石油エネルギーは、経済的繁栄の原動力となってきた一方で、「先進国」「開発途上国」という二極化構造を生み、地球環境に負荷を与えてきました。コスモ石油は、次世代に豊かな社会をつなぐ持続的発展を支える責務を自覚し、エコカード基金を通じて国内および途上国の環境修復と保全に取り組む活動を支援していきます。



コスモ・ザ・カードのご紹介

「地球のために何かしたい」という思いを実現するためのカードです。



コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、お客様から毎年お預かりしている500円とコスモ石油グループからの寄付金を、環境保全活動を行うNPOなどに寄付することなどで、その活動をサポートしていきます。

コスモ石油のカードに関するお問い合わせ先

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

0120-987-622

携帯電話専用 03-4330-1660

月～土曜・祝日 / 9:15～17:30
日曜日 / 10:00～17:30

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」

北日本 022-771-1500

東京 043-296-6200

中部 059-353-2100

大阪 06-4863-0100

年中無休 9:00～21:00

私たちも地球のために何かしたい！

コスモ石油ルブリカンツ株式会社

コスモECOディーゼルシリーズ

DPFの性能向上、燃費向上につながる環境対応ディーゼルエンジンオイル

大気汚染物質低減のため、DPF装着車が普及していますが、従来のディーゼルエンジン油では目詰まりを起こしやすく、触媒の性能を低下させるという問題がありました。コスモECOディーゼルシリーズは、この問題を起こす成分を削減し、さらにエンジンの長寿命化・省燃費化に貢献します。

この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2014年度は、8,705,343円が拠出されました。



<http://www.cosmo-lube.co.jp/lub/lubproduct10.html>

株式会社コスモトレードアンドサービス

コスモECO.R

CO₂排出量削減・燃費向上につながる環境配慮型バッテリー

充電制御システム搭載車対応で、充電受入性が高く、充電制御システム搭載車に搭載した場合、バッテリー充電のためにオルタネータ（自動車の発電機）を動かす燃料を節約できるため、CO₂排出量削減・燃費向上に貢献します。

この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2014年度は、1,804,160円が拠出されました。



<http://www.cosmo-trade.com/goods/carcare/ecor.html>

収支報告

預金利息・他収入 62,879円

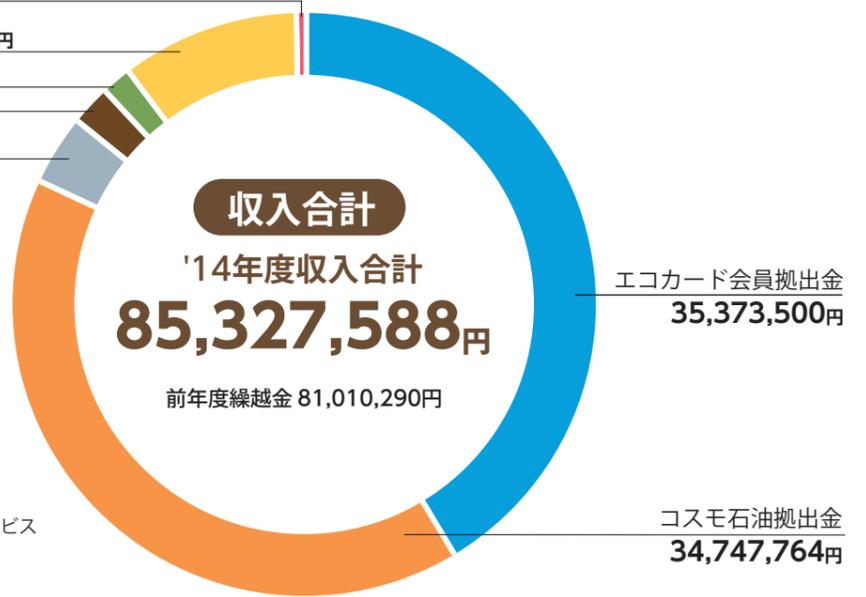
CLC*拠出金 8,705,343円

CTS・東日本復興支援拠出金 1,335,840円

CTS*拠出金 1,804,160円

クリック募金 3,298,102円

* CLC:コスモ石油ルブリカンツ
CTS:コスモトレードアンドサービス



活動報告書アンケートプレゼント費 151,370円

収支レビュー費 300,000円

10周年記念企画・DMクリスマスカード

420,390円

エコツアー費用 561,988円

管理費(評議員謝礼・他支出) 1,204,955円

10周年記念企画・富良野植樹

1,609,620円

活動報告書作成・発送費

9,417,600円

東日本大震災復興支援

森は海の恋人

1,307,548円

どんぐりの森 里山再生

2,072,995円

ムササビとともに

暮らす里山再生

2,500,100円

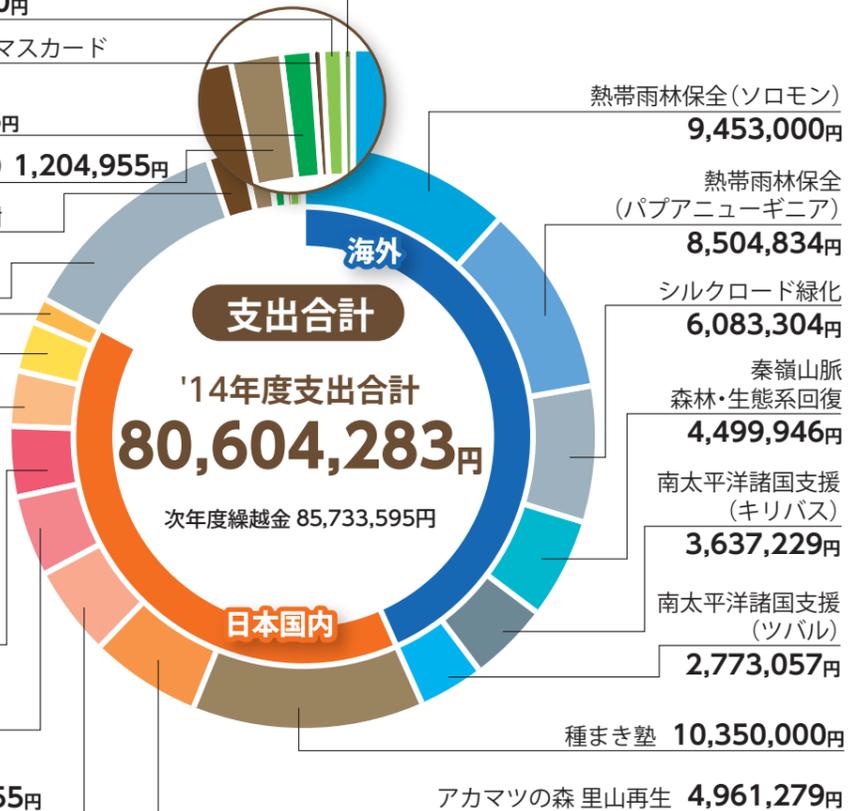
Meets Green 南三陸

3,218,607円

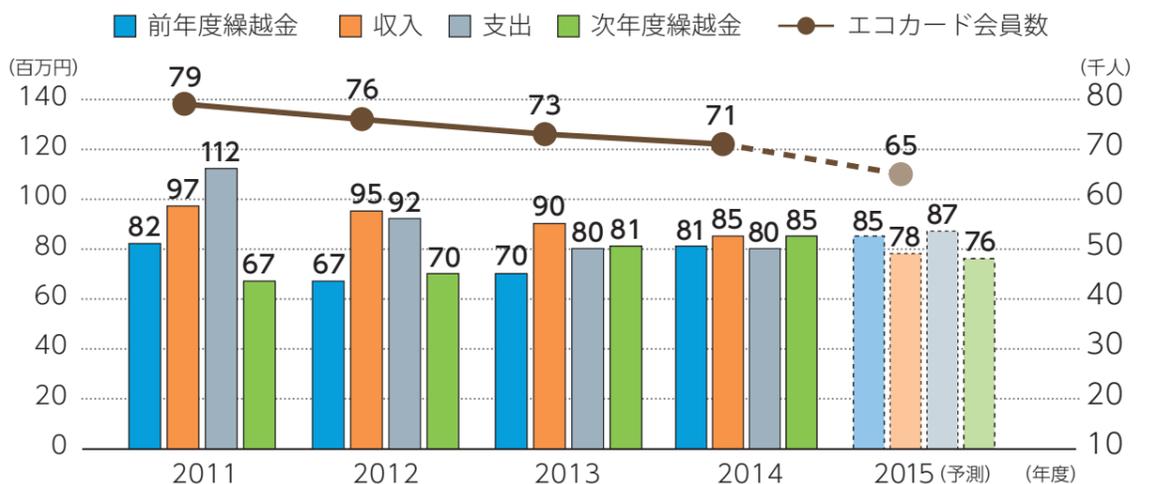
野口健 環境学校

3,463,006円

人と森をつなぐ 4,113,455円



資産規模と会員数の推移



この収支報告は、基金の収支計算書から分かりやすく作成したものです。基金の収支計算書には、レビューを行った独立した公認会計士から次のような内容の意見を受けています。

収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書(抜粋)

2015年4月11日 公認会計士 加藤 俊也

私は、コスモ石油エコカード基金の委嘱に基づき、同基金の2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の収支計算書についてレビューを行った。この収支計算書の作成責任は基金の代表者にあり、私の責任は、独立の立場から実施したレビューに基づき収支計算書に対する結論を表明することにある。

日本公認会計士協会監査・保証実務委員会研究報告第20号「公認会計士等が行う保証業務等に関する研究報告」に準拠してレビューを行った。その結果、上記の収支計算書が、我が国において一般に公正妥当と考えられる収支計算の基準に準拠して、基金の収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。